

平成30年度 岡山県臓器提供ワークショップ

～“最期の意思”を叶えるために～

急性期型の『終末期医療』に直面した患者や家族、そして私たち救命救急医療従事者が『終末期医療』を吟味する時間はあまりにも短く、常に困難な対応を迫られます。そのような状況において、『脳死とされうる状態』となられた患者さんやご家族に対し臓器提供選択肢提示を切り出せない救命救急医療従事者があまりにも多い現状は、やむを得ないのかも知れません。

しかし、臓器提供選択肢の未提示は『救急医療における終末期医療に関する提言』や『人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン』で強調されている『本人・家族の意思の尊重』を遵守していると言えるのでしょうか？

今回のワークショップでは、スペイン・米国で臓器提供の研修を積まれたり、各地でコーディネーターとして活躍されたりしている方々を講師にお招きし『本人の“最期の意思”を家族が叶える』ためのノウハウを教授いただきます。



【開催日時】

平成31年3月9日(土) 9:50 - 16:10

【会場・集合場所】

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院
(岡山県倉敷市美和1-1-1)
3棟1階フラワーガーデン
(9:30までに集合)

【JR倉敷駅からのアクセス】

- ・徒歩；約15分
 - ・バス；下電バス
- 「中庄駅行」「児島駅行(天城線)」
「茶屋町駅行」で約10分
「中央病院前」下車

【MAP】



時間	内容	形式
9:50 - 9:55	開会の挨拶	
9:55 - 10:00	講師紹介	
10:00-10:15	国内外における臓器提供の現状	講義
10:15-10:45	終末期医療と臓器提供	講義
10:45-11:00	休憩	
11:00-11:30	院内体制プロセス	講義
11:30-12:20	レシピエント講演 (Luncheon seminar)	GW
12:20-13:05		講義
13:05-13:35	ファミリーアプローチ	講義
13:35-14:25		GW
14:25-14:55	脳死判定・ドナー管理	講義
14:55-15:45		GW
15:45-16:00	質疑応答・全体討論	GW
16:00-16:05	修了書 アンケート	
16:05	閉会のあいさつ	

主催：岡山県臓器移植ワーキンググループ（事務局：岡山県保健福祉部 医薬安全課）
公益財団法人 岡山県臓器バンク

<お問合せ先>

岡山県保健福祉部 医薬安全課 TEL：086-226-7341（平日8:30～17:15（12:00～13:00を除く））

【講師】

※五十音順に現職のみ記載

- ・今村 友紀氏（兵庫県臓器移植コーディネーター）
「院内体制プロセス」講義、GW
- ・尾迫 貴章氏（国立大学法人岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域救急・災害医療学講座 講師）
「国内外における臓器提供の現状」講義
「脳死判定・ドナー管理」GW
- ・内藤 宏道氏（国立大学法人岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救命救急・災害医学講座 准教授）
「脳死判定・ドナー管理」講義、GW
- ・中尾 篤典氏（国立大学法人岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救命救急・災害医学講座 主任教授）
「脳死判定・ドナー管理」GW
- ・林 卓郎氏（兵庫県立こども病院救急総合診療科）
「ファミリーアプローチ」GW
- ・安田 和広氏（岡山県臓器移植コーディネーター）
「院内体制プロセス」GW
- ・吉岡 育代氏（香川県臓器移植コーディネーター）
「院内体制プロセス」GW
- ・吉川 美喜子氏（神戸大学大学院医学研究科腎臓内科学講座 特定助教）
「ファミリーアプローチ」講義、GW
- ・吉永 和正氏（医療法人協和会 協和マリナホスピタル 院長）
「終末期医療と臓器提供」講義
「ファミリーアプローチ」GW